

第37回 技術研究発表会 第32回 交流展示会

テーマ アーバンインフラ再興

-未来に向けた安全・安心で持続可能なまちづくり-

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）では、都市づくりに関するアーバンインフラストラクチャーとテクノロジーについて、学術と知識の交流を目的に、37年にわたって技術研究発表会と交流展示会を実施してまいりました。

2025年は「アーバンインフラ再興－未来に向けた安全・安心で持続可能なまちづくり－」をテーマに論文発表およびプロジェクト・技術報告をハイブリッド形式にて開催いたします。

また、交流展示会では、地方公共団体や諸団体の都市基盤施設、都市インフラ技術、各種プロジェクトに関する情報を一堂に集めて公開いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時

2025年12月5日（金）開会式・発表・閉会式：10時30分～18時50分

意見交換会：閉会式後～20時00分

会 場

ハイブリッド形式 オンライン：ウェビナー リアル会場：3×3Lab Future（東京都千代田区大手町 1-1-2）

CPD 単位

土木学会、日本都市計画学会（申請中）

参 加 費

無 料

申 込 み

事前登録制 ※Web サイトもしくは QR コードからお申し込みください



◆技術研究発表会

10:30-10:40 開会式

10:40-15:55

<論文：14 演題>

A 環境・エネルギー・建築

B 交通・防災

C 都市の再興・まちづくり

<報告：2 演題>

D プロジェクト・技術報告

16:05-18:10

<論文：3 演題>

<報告：1 演題>

E 共通セッション

国土交通省の取り組み

質疑・意見交換 等

18:30-18:50 閉会式

◆意見交換会

18:50-20:00

国土交通省都市局より多数

ご出席いただく予定です

◆交流展示会

都市基盤・インフラ技術

再開発事業 プロジェクト

まちづくり 他

* 詳細は状況に応じて変更になる場合がございます



◆参加登録 * 詳細はこちら

www.uit.gr.jp/tech_research2025/

主 催 アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 東京都文京区関口 1-23-6 Tel 03-5261-5625 Mail uit@uit.gr.jp

協 賛 三菱地所株式会社

後 援 国土交通省 東京都 独立行政法人都市再生機構 公益財団法人都市活力研究所 一般財団法人都市みらい推進機構（予定）

第 37 回技術研究発表会 テーマ

◇ 2025年テーマ 「アーバンインフラ再興 –未来に向けた安全・安心で持続可能なまちづくり–」

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議が設立された 1980 年代、人口が増加し、都市化・情報化・国際化・サービス経済化をはじめとする経済社会の急速な進展の中で、都市は、産業、経済、文化、市民生活の総合的受け皿の役割を求められていました。このようなニーズに対応して、継続的な都市の発展と高度で豊かな都市化社会の実現には、都市の基盤であるアーバンインフラの強化・充実に図ることが不可欠でした。当時も、アーバンインフラは、活力ある都市づくりのための交通・情報・通信等の活力基盤、快適な国民生活のためのリゾート等の快適基盤、生活の拠点である居住基盤、防災・防犯・自然環境保全等の安全基盤など多様な広がりを持つものとして捉えられており、本推進会議は、技術的知見で、高度で豊かな都市の形成に重要な役割を果たしてきました。しかし、都市を取り巻く環境が大きく変化し、急速な人口減少に伴って都市の空洞化が進む中、少子高齢社会や国際化、地球温暖化、自然災害に対する強靱化等、さらに多様で複雑な問題に対応しなくてはなりません。また、近年は、高度成長期に一齐に整備されたアーバンインフラの老朽化も深刻な都市問題となっており、水道管破損事故や学校等公共施設の崩落事故等の人的災害が顕在化しています。これら老朽アーバンインフラは、災害多発国であるわが国においては一層深刻な 2 次被害をもたらすことも懸念されています。加えて、能登半島地震の復興では、アーバンインフラの老朽化だけでなく、高齢社会による投資的余力の低下やコミュニティ崩壊が災害復旧能力を弱体化させている点も指摘されています。

一方、アーバンインフラは物理的な機能だけでなく、地域社会の健康や幸福を支える社会的インフラとして、「人中心」の暮らしを実現し、人々の生活の質を向上するための重要な役割を担っています。そのためには、デジタル技術やロボット、AI 等の先端技術を、プランニングや建設、維持管理・マネジメント、評価等に有効に活用することや、官民連携や分野間連携、広域連携など適切な事業枠組みの構築に向けた検討、さらには多様な主体のまちづくり参画をあらゆるプロセスで可能とする仕掛けや社会実験・暫定利用を含む機動的な事業展開など、幅広い意味での“技術”の向上を図ることも欠かせません。このような都市を取り巻く社会情勢の様々な変化を踏まえると、当初共有されていたアーバンインフラの概念は、現在また将来に求められるものへと展開していく必要があり、アーバンインフラの質や価値、内容を今一度考えるべき段階にあります。

そこで、第 37 回技術研究発表会は『アーバンインフラ再考 –未来に向けた安全・安心で持続可能なまちづくり–』をテーマとして開催いたします。

◇ 共通セッションテーマ 「次世代のアーバンインフラを考える ～新たな価値創出と維持管理～」

アーバンインフラについては、社会経済の変化要請に応じ、新たな都市の価値創出に貢献するインフラ整備を進めると同時に、既存インフラの老朽化を踏まえた適切な維持管理を行うことが求められています。本共通セッションでは、昨今のまちづくりの新たなニーズを踏まえた取り組み、及び先端技術を活用した施設の維持管理等の事例を挙げながら、次世代アーバンインフラのあり方を議論します。

第 37 回技術研究発表会 プログラム

■ 開会式

10:30-10:40 挨拶 U I T 会長 高橋 洋二 (東京海洋大学名誉教授)
来賓 国土交通省 都市局

■ 発表内容

10:45-12:00 発表 I 論文 (B.情報・交通)
12:00-13:00 昼休憩
13:00-15:55 発表 I 論文 (A.環境・エネルギー・建築 C.都市の再興・まちづくり)
II 報告 (D.プロジェクト・技術報告)

16:05-16:10 共通セッション 趣旨説明 技術研究発表委員 安藤 章 (日建設計総合研究所 主席研究員)

16:10-17:10 発表 I 論文 (A,B,C)、II 報告 (D)

17:10-17:25 国土交通省の取り組み 国土交通省 都市局都市計画課 都市計画調査室長 角田 陽介 氏
タイトル:「未定」

17:25-18:10 共通セッション 質疑・意見交換等

■ 閉会式

18:30-18:50 講評 論文審査委員長 中村 英夫 (日本大学教授/U I T 副会長)
表彰 U I T 会長 高橋 洋二 (東京海洋大学名誉教授)

■ 意見交換会

18:50-20:00 挨拶 U I T 技術交流部会長 井上 俊幸 (三菱地所 執行役常務)
来賓 国土交通省 都市局
受賞者挨拶

